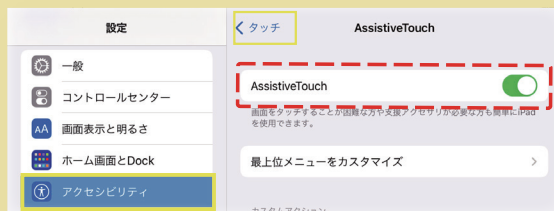




「AssistiveTouch」でiPadの操作を効率化する

■「AssistiveTouch」とは、iPadのホームボタンや電源ボタンを画面上のタップに置き換えたり、複雑な操作をジェスチャーに登録したりすることができる機能です。ここでは、使用頻度が高いと思われる機能を素早く使用できるよう、おすすめの設定を紹介します。

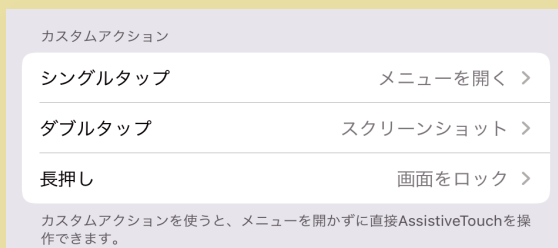
1. 「設定」>「アクセシビリティ」>「タッチ」を選択し、「AssistiveTouch」をオンにします。オンにすると、画面上にアイコン  が現れます。 は長押ししながら位置を移動させることができます。



2. カスタムアクションのシングルタップを「メニューを開く」にして をタップすると、ホームに戻る／Siriを起動させるなどの操作を画面上のタップで行えます。

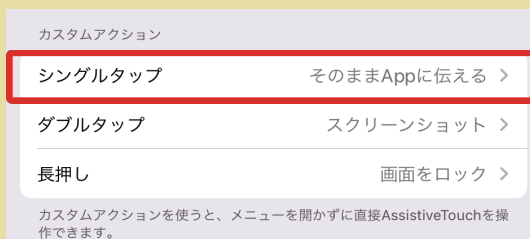


3.  アイコンのシングルタップ／ダブルタップ／長押しに、機能の割り当てを行うこともできます。割り当てる機能を変更するには、シングルタップ／ダブルタップ／長押しを選択し、割り当てたい機能を選択します。以下は、使用頻度の高い機能を割り当てたおすすめの設定です。



- …  をタップすると 2.のメニューが開く
- …  を素早く2回タップするとスクリーンショットが撮影される
- …  を長押しすると画面が自動ロック（スリープ状態）になる

※ ダブルタップ／長押しへの割り当てのみを使用したい（2.のメニューからの操作が必要ない）場合は、シングルタップを「そのままAppに伝える」に設定するのがおすすめです。



例）アプリの上に  があるとき

